

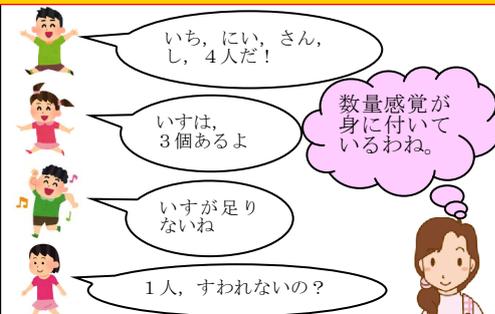
- ◆ 1 ページ
 - ・ 研修紹介 (幼稚園教育実践研修)
 - ・ 学校紹介 (矢野南小学校)
- ◆ 2 ページ
 - ・ 授業づくりシリーズ 学ぶ意欲が高まる授業を目指して (中学校国語科編)
 - ・ 教育センター情報 「土曜開館」 等

7・8 月号

「幼稚園教育実践研修」より

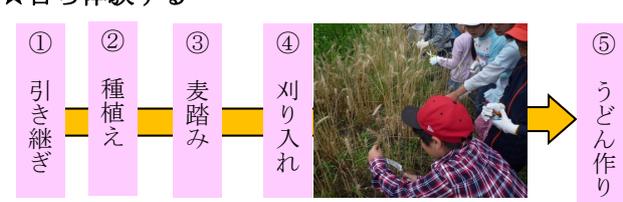
研修紹介 小学校につながる「学び」の環境づくり

6月16日、安田女子短期大学保育科 柿岡 玲子 教授を講師にお迎えし、「幼児教育における『環境』についての理論と実践」の講義をしていただきました。幼児教育では、遊びを通して学んだことを、小学校の生活や学習の基盤の育成につなげることが大切です。そのため、幼児に学ばせたいことを押さえた上で、日々の遊びを通して様々な体験ができるように環境を整えています。今回は、いくつかの事例を通して指導して頂きましたが、その中から科学性の芽生えを育む「数遊び」について紹介します。

学ばせたいこと	実際の場面（環境づくり）～いすとりゲーム～	学 び
<p>数量感覚</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数唱 ○ 集合数の理解 ○ 一対一対応 <p>など</p> 	 <p>何人すわれるかな？</p>	 <p>いち、にい、さん、し、4人だ！</p> <p>いすは、3個あるよ</p> <p>いすが足りないね</p> <p>1人、すわれないの？</p> <p>数量感覚が身に付いているわね。</p>

学校紹介 平和教育のさらなる充実を目指して **矢野南小学校**

今年も各校で平和教育プログラムに沿った取組が行われています。今回は、こうした平和教育プログラムの取組に加え、学校独自のプログラムを計画・実践し、平和教育をさらに充実させている矢野南小学校の取組の中から、特色のある教材をいくつか紹介します。

教材	『「はだしのゲン」の麦作り』 3・4年	『被爆樹木2世の栽培』 全学年
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○戦時中の食を理解する。 ○ゲンの父が麦にたとえて伝えたメッセージから、家族の大切さについて考える。 ○学んだことを発信しようとする心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○命の大切さや被爆の実相を知り、平和を願い、継承していこうとする心を育てる。
活動	<p>麦作りの体験から学んだことを知ってもらおう</p> <p>★自ら体験する</p>  <p>★体験から学んだことを発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内平和のついでで発表 ・広島市商ピースデパートで麦の販売 ・海外への発信（「ルワンダの教育を考える会」理事長マリールイズさんとの交流を通してルワンダでも麦を栽培） <p><small>【広島市商ピースデパート】</small></p>	<p>被爆樹木2世を知り、前学年から引き継いで次学年へつなげよう</p> <p>★1年から6年まで継続して、校内にある各被爆樹木2世を教材として扱う。（平和の森、鉢植え）</p> <p>1・6年…ナツミカン 2年…アオギリ 3年…カキ 4年…サクラ 5年…イチヨウ</p> <p>6年生 被爆樹木の価値を伝承する</p> <p>被爆樹木を題材にした紙芝居で伝える。</p> <p>1年生 被爆樹木に関心をもつ</p>

～子どもの心に
火をつける～



学ぶ意欲が高まる授業を目指して

子どもたちの「学ぶ意欲」を高めるためには、学習過程の中の「導入場面」「課題認識場面」「課題解決場面」「振り返り場面」の中で、子どもが主体的になれる活動を仕組むことが重要です。

今回は、「課題認識場面」に視点を当てて、課題解決への意欲を高めるために、見通しをもたせた活動に重点を置いた中学校国語科の事例を紹介します。

課題認識場面

書く活動に主体性をもたせる指導の工夫

中学校国語科編

国語科では、指導事項を言語活動を通して指導しますが、「学ぶ意欲」を高めるためには、子どもの興味関心を引き出す（共感させる）だけでなく、その活動でどんな力がつくのかを意識させる（見通しをもたせる）ことが大切です。

今回は、俳句の鑑賞文を書く活動に主体性をもたせるため、課題認識場面において2つの工夫（①学んだ力を活用する課題を繰り返すことで、見通しをもたせること②生徒に共感をもたせる学習課題を提示すること）を取り入れた実践例を紹介します。

中学校第3学年

「俳句の可能性」

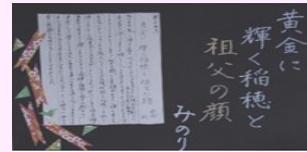
二葉中学校

高瀬 智美 教諭の実践

※ 実践は平成28年度
井口中学校におけるものです。

導入

- ・ 課題解決（鑑賞文を書く）のために必要な力を確認する
- ・ 鑑賞文の構成や表現の工夫を学ぶ
- ・ 教科書教材を読み取る



文化祭で展示した生徒の俳句と鑑賞文

課題認識

導入部分で学んだ力

見通し
(書けそう)

共感
(書きたい)

主体性

意欲

工夫① 学んだ力を活用する課題の繰り返し

- ・ 共通課題として教科書教材の俳句の鑑賞文を書く
- ・ 自作の俳句に解説を書く

Aくんの表現はいいなあ。こんな風
書けばいいのか。



僕がこだわったのはこの言葉で…この気持ちを伝えられたらいいな。

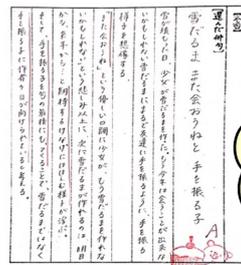
工夫② 共感をもたせる課題の提示

- ・ 名前を伏せて生徒の創作した俳句を掲示する
- ・ 各自が鑑賞文を書きたいと思った句を選ぶ
- ・ 選んだ俳句の鑑賞文を書く

誰の作品かな？



この気持ちわかるなあ。伝えたい!



【掲示した友だちの俳句から選ぶ】

課題解決へ(友達の俳句の鑑賞文を書く)

お知らせ

教育センターはみなさんの自主研修をサポートします

新刊紹介

『深い学び』で生かす思考ツール

「思考ツール」を活用した公立小学校の授業実践を紹介しながら、**思考力、判断力、表現力を高める「深い学び」**とは何かを、わかりやすく解説しています。

【著者】

田村 学 (文部科学省視学官)
黒上 晴夫 (関西大学)

土曜特別セミナー

カタチとイメージを重ねることの面白さを味わおう
—『墨で表す』題材を通して—
小学校図画工作科の授業づくりです。

平成29年9月9日(土)
9:00~12:00
講師 広島大学大学院
三根 和浪 准教授

[詳しくはこちら](#)

教育実践サポート

月1回の土曜開館の際に、指導主事に直接相談することができます。事前に予約することもできますので、ぜひ活用してください。

9月担当	担当業務
大上 隆之	理科、管理職研修等
川口 大輔	社会科、中堅教諭研修等